

秋田市教育委員会
会 議 録

令和元年6月定例会

秋田市教育委員会令和元年6月定例会会議録

- 1 日 時 令和元年6月27日(木)
午後3時30分～午後4時10分
- 2 場 所 5-A会議室
- 3 出席委員 教育長
教育委員
教育委員
教育委員
教育委員
- 4 出席職員 教育次長
教育次長
学校適正配置推進室長
総務課長
学事課長
学校教育課長
教職員室長
教育研究所長
学校適正配置推進室参事
生涯学習室長
文化振興課長
総務課長補佐
総務課副参事
学事課長補佐
学事課副参事
文化振興課副参事
総務課主席主査
総務課主席主査
文化振興課主席主査
総務課主査
学事課主査
学事課主査
総務課主任

總務課主任
總務課主事

5 議 題

【付議案件】

議案第9号 秋田市文化財保護審議会委員の委嘱に関する件

議案第10号 秋田市立小、中学校通学区域の一部を改正する件

【教育長等の報告】

(1) 令和元年6月市議会定例会の審議状況について

(2) 学校給食への異物混入について

6 議 事 午後3時30分開会

【令和元年5月定例会会議録の承認】

令和元年5月定例会会議録について、異議がないため承認された。

【会議録署名委員の指名】

教育長が今回会議録の署名委員として委員2名を指名した。

【付議案件】

議案第9号 秋田市文化財保護審議会委員の委嘱に関する件

教育長 議案第9号「秋田市文化財保護審議会委員の委嘱に関する件」について、事務局から説明願う。

文化振興課長 (資料に基づき説明)

教育長 在任期間が長い方で何年ほど委員を務めているのか。また、どのような方法で委員の人選(案)を作っているのか。

文化振興課長 最も長い方で24年である。また、市内の研究者の研究状況を踏まえながら、文化財の各分野のバランスが良くなるよう人選し、提案している。

教育長 これらの委員で、文化財のあらゆる分野を網羅できるのか。

文化振興課長 文化財の分野は非常に幅広く、全ての分野を網羅しようとすると50～100のジャンルに細分化できる。そのた

め、自身の専門分野以外もカバーできるといった観点も含め、人選（案）を作成している。

※ 議案第9号については、全員賛成により、議決された。

議案第10号 秋田市立小、中学校通学区域の一部を改正する件

教育長 議案第10号「秋田市立小、中学校通学区域の一部を改正する件」について、事務局から説明願う。

学事課長 (資料に基づき説明)

委員 住居表示実施後も、牛島字東潟敷と仁井田字西潟敷の住所は残るのか。

学事課長 全てが変更される訳ではなく、一部残る。

※ 議案第10号については、全員賛成により、議決された。

【教育長等の報告】

(1) 令和元年6月市議会定例会の審議状況について

総務課長 6月市議会定例会の審議状況について報告する。

はじめに、下北手中学校の公共下水道直結工事に係る補正予算案について、6月21日に行われた予算決算委員会教育産業分科会において審議され、26日の予算決算委員会全体会において原案どおり可決すべきものと決定された。

また、御所野学院高校の入学者選抜実施に伴う秋田市立学校授業料等徴収条例の一部改正や、明德小、川尻小、土崎南小学校の屋内運動場の大規模改造工事請負契約の締結など4件の議案についても、21日の教育産業委員会において審議され、原案どおり可決すべきものと決定された。

これらの補正予算案、条例案、契約案件3件の議案については、28日の本会議において、議決される予定となっている。

また、6月21日の教育産業委員会では、平成30年度から令和元年度に繰り越したブロック塀改修などの学校施

設改修に伴う経費について報告したほか、学校適正配置における地域ブロック協議会の開催へ向けた準備状況、学校給食の異物混入について報告したところである。

※ 報告(1)については、以上のとおり終了した。

(2) 学校給食への異物混入について

学事課長 (資料に基づき説明)

委員 異物の分析調査は、どこで行っているのか。また、調査結果が出るまでにどのくらい時間がかかるのか。

学事課長 一般社団法人秋田市学校給食会を通じ、民間企業に成分の分析調査を依頼している、早ければ1～2週間ほどで結果が出るが、更に時間がかかる場合もある。

委員 異物混入対策委員会はいつ頃から動き始めるのか。

学事課長 現在、調理場の一斉点検を行っており、7月12日を目処に終了する予定である。その結果を踏まえ、学校の夏季休業中に異物混入対策委員会を立ち上げたいと考えている。

委員 この度の一斉点検は、異物混入の原因と対策について考える良いきっかけになったのではないか。現場では、細心の注意を払っていると思うが、子どもたちに安全・安心でおいしい給食を提供するのは、大変難しいことであると感じる。

現段階で、点検を終えた調理場の状況を教えてもらいたい。

学事課長 教育次長や担当職員と学校に出向き、調理場の中や調理器具を点検しているが、調理器具は、各校で摩耗具合に違いはある。傷んでいる調理器具は、より速やかに交換を行っていきたい。ハード面の問題は、今すぐに解決できないものもあるため、可能な部分から順次改善を図っていきたいと考えている。

委員 現場の調理員のは、プレッシャーをかけるのではなく、意見を挙げやすい環境を作るよう対応をしてもらいたい。

教育次長 調理員は「同じ失敗を繰り返さない」という意識がとて

も高いように感じる。しかし、調理器具や食器が欠けていても、なかなか交換しようとしないう面が感じられた。

今回の一斉点検では、古くなったり、摩耗したりした調理器具を積極的に交換するよう伝えており、異物混入防止に対して一定の効果があるのではないかと。

教育次長 調理員と話をする際には、「異物混入の根絶を図るために協力をしていただきたい。」という旨を伝えている。

委員 このように異物混入が続くと、給食に対する信頼の低下につながる。また、児童生徒が混入物で口の中を切った場合、けがや病気につながる危険性もある。より安全・安心な給食を提供するため、HACCP（危害要因分析重要管理点）を導入するなど、あらゆる方向から対策を検討してはどうか。

教育長 調理場では、異物を発見できるよう、どのような対策を取っているのか。

学事課長 食品納入時に、一度検品を行い、その後、下処理する段階では、流水で3回洗っている。食品を切る際も、一度に処理するのではなく、何度かに分けて処理し、異物があっても目視で確認できるよう作業を行っている。

委員 異物混入対策委員会の外部有識者は、どのような人を考えているのか。

学事課長 保健所衛生検査課の担当職員、食品の納入業者、調理器具の納入業者、その他関連団体などに依頼し、幅広い意見を取り入れて対策を検討していきたい。

委員 先ほどHACCPについて言及があったが、食品の管理に関する専門家に有識者を依頼する予定はあるか。

教育次長 HACCPについては保健所衛生検査課が指導を行っており、先に述べたとおり同課担当職員に依頼する予定である。

※ 報告(2)については、以上のとおり終了した。

【その他、今後の日程についての報告】

総務課長補佐 7月定例会の日程についてお知らせする。7月定例会は

7月25日（木）を予定している。

議事として「秋田市立小学校教科用図書採択」などがあり、審議に長時間を要することが見込まれるため、午後1時15分からの開始を予定している。

教育長

7月定例会は7月25日（木）午後1時15分を開催予定とする。委員の皆様、日程調整をお願いする。

午後4時10分閉会